

株式会社 ユーシン精機

2017年3月期

決算説明会

代表取締役社長 小谷眞由美

2017年5月11日

東証第一部 証券コード6482

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

会社概要

社名	株式会社ユーシン精機
代表者	代表取締役社長 小谷 眞由美
設立	1973年10月
資本金	19億8,566万円
社員数	663人 (2017年3月末現在、連結)
売上高	193億円 (2017年3月期連結)
上場	東証第一部
証券コード	6482
売買単位	100株



製品ラインアップ (1)

取出口ロボット

HSAシリーズ
〈横走行タイプ〉



HSTシリーズ
〈横走行タイプ〉



RCシリーズ
〈横走行タイプ〉



YCシリーズ
〈横走行タイプ〉



SCシリーズ
〈横走行タイプ〉



TSXAシリーズ
〈サイドエントリータイプ〉



HOPシリーズ
〈スイングタイプ〉 〈サイドエントリータイプ〉



※堅型成形対応

DRDシリーズ
〈スイングタイプ〉

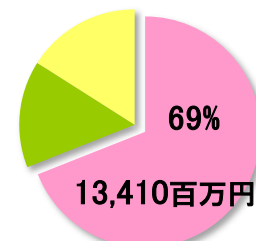


※光ディスク専用

SXCシリーズ
〈サイドエントリータイプ〉



売上構成比



2017年3月期

製品ラインアップ (2)

特注機

フレキシブル
モジュールストック



インモールド装置



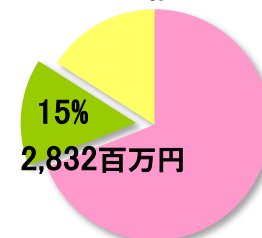
ゲートカット
システム



パレタイジング
ロボット

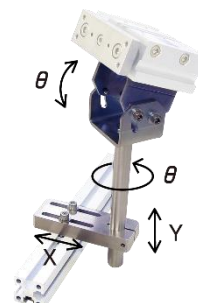


売上構成比

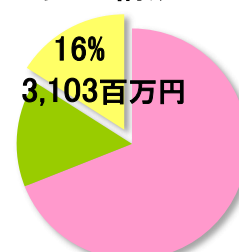


2017年3月期

部品・保守サービス



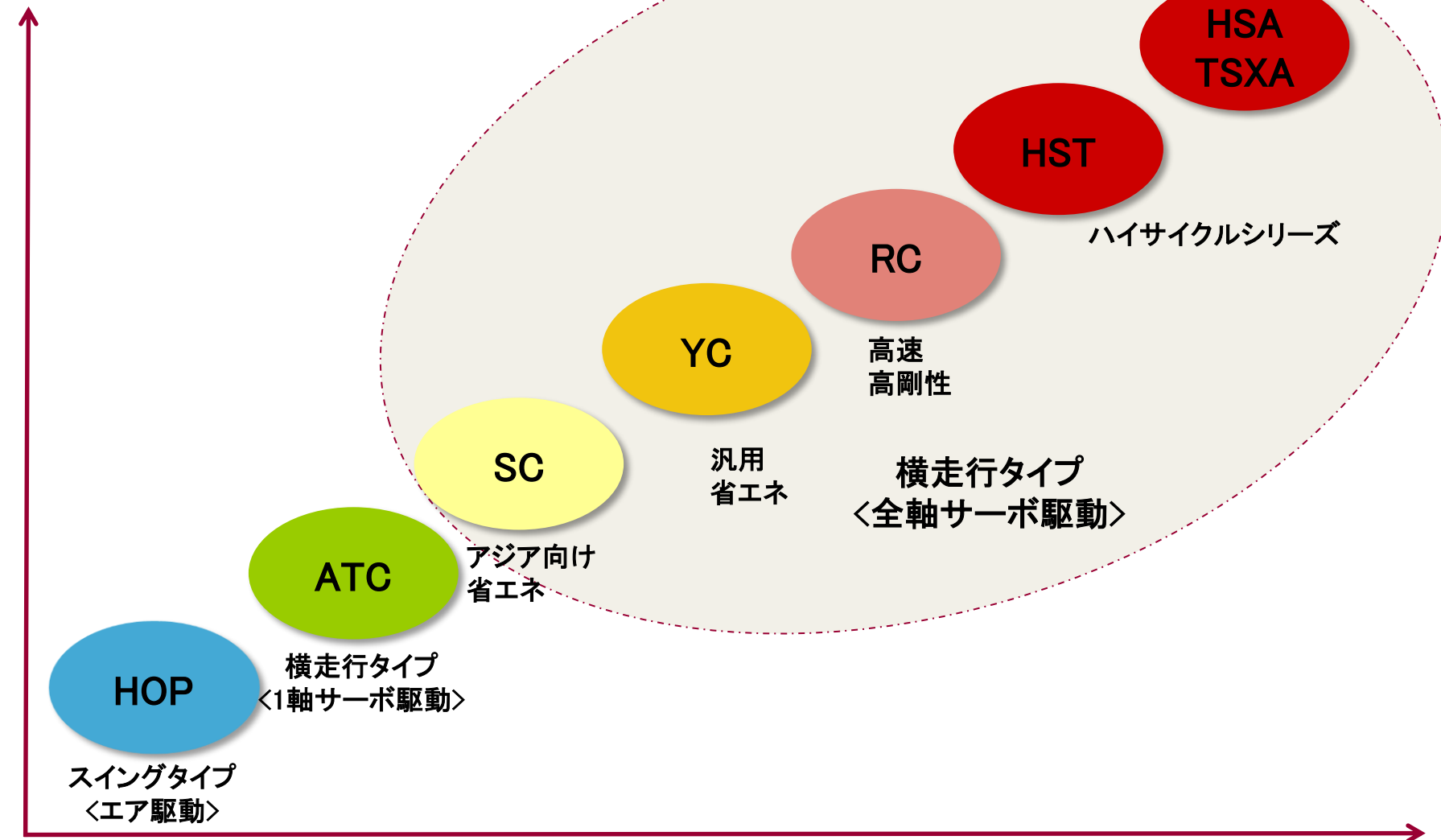
売上構成比



2017年3月期

取出口ロボットの性能と価格

高速性能



当社の特徴

理念・方針

- ユーザーの要望に応える高品質なものづくり
- 新規事業分野への挑戦

グローバル展開

- 海外売上比率の高さ
- 業界一のグローバルな拠点網とサポート体制

顧客からの支持

- 営業、サービスのレスポンスの良さ
- 業界をリードする技術力と納期厳守による信用力

安定した 財務体質

- 設備を最小限にしたファブレス経営
- 無借金経営・自己資本比率の高さ



業界シェア世界第一位

2017年3月期実績

	2016/3			2017/3		
	金額	比率	伸び率*	金額	比率	伸び率*
	百万円	%	%	百万円	%	%
売上高	21,148	100.0	18.8	19,346	100.0	△ 8.5
売上総利益	8,442	39.9	16.0	7,666	39.6	△ 9.2
営業利益	3,086	14.6	33.9	2,112	10.9	△31.5
経常利益	2,921	13.8	14.9	2,058	10.6	△29.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,908	9.0	13.4	1,380	7.1	△27.7

*対前年増減率

2017年3月期実績について

2017/3(実績)

売上高

➤ 前期比8.5%減の19,346百万円

- ・ 円高の影響による減少（現地通貨ベースでは北米・韓国好調）
- ・ 医療分野における販売が翌期にずれ込む
- ・ 自動化ニーズは伸び堅調
- ・ 国内はロボット・特注機とも堅調
- ・ ベトナム、マレーシア、インドネシアは伸びる

営業利益

➤ 前期比31.5%減の2,112百万円

- ・ 新基幹システムの不具合対策費用の発生
- ・ 新本社工場移転のコスト

2018年3月期予想

	2017/3(実績)				2018/3 (予想)					
	第2四半期		通期		第2四半期			通期		
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	伸び率*	金額	比率	伸び率*
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%	%
売上高	8,949	100.0	19,346	100.0	10,200	100.0	14.0	21,000	100.0	8.5
売上 総利益	3,787	42.3	7,666	39.6	4,200	41.2	10.9	8,600	41.0	12.2
営業 利益	1,343	15.0	2,112	10.9	1,250	12.3	△7.0	2,700	12.9	27.8
経常 利益	1,150	12.9	2,058	10.6	1,250	12.3	8.7	2,700	12.9	31.2
親会社株主に 帰属する 当期純利益	849	9.5	1,380	7.1	850	8.3	0.0	1,900	9.0	37.7

*「伸び率」は、通期は対前期、第2四半期は対前年同四半期増減率

2018年3月期予想について

2018/3(予想)

売上高

➤ 前期比8.5%増の21,000百万円

- ・ 取出口ボットは前期比7.4%増
 - 新機種発売を含め拡販を計画
 - 中国向け電子部品・自動車関係に期待
- ・ 特注機は前期比16.5%増
 - 国内外における自動化ニーズのさらなる増加
 - 医療関連の出荷と新規分野の拡大

営業利益

➤ 前期比27.8%増の2,700百万円

- ・ 新本社の本格稼働による業務合理化と販売数量の増加で利益貢献
- ・ 新本社工場の生産性アップと継続的なコストダウンによる収益性向上

品目別売上高

(百万円)

25,000

20,000

15,000

10,000

5,000

0

14,721

17,909

17,799

21,148

19,346

21,000

部品・
保守サービス

特注機

取出口ロボット

'13/3

'14/3

'15/3

'16/3

'17/3

'18/3(予)

■ 部品・保守サービス

2,436

2,547

2,911

3,227

3,103

3,300

■ 特注機

2,144

2,626

1,794

3,997

2,832

3,300

■ 取出口ロボット

10,141

12,736

13,092

13,923

13,410

14,400

合計

14,721

17,909

17,799

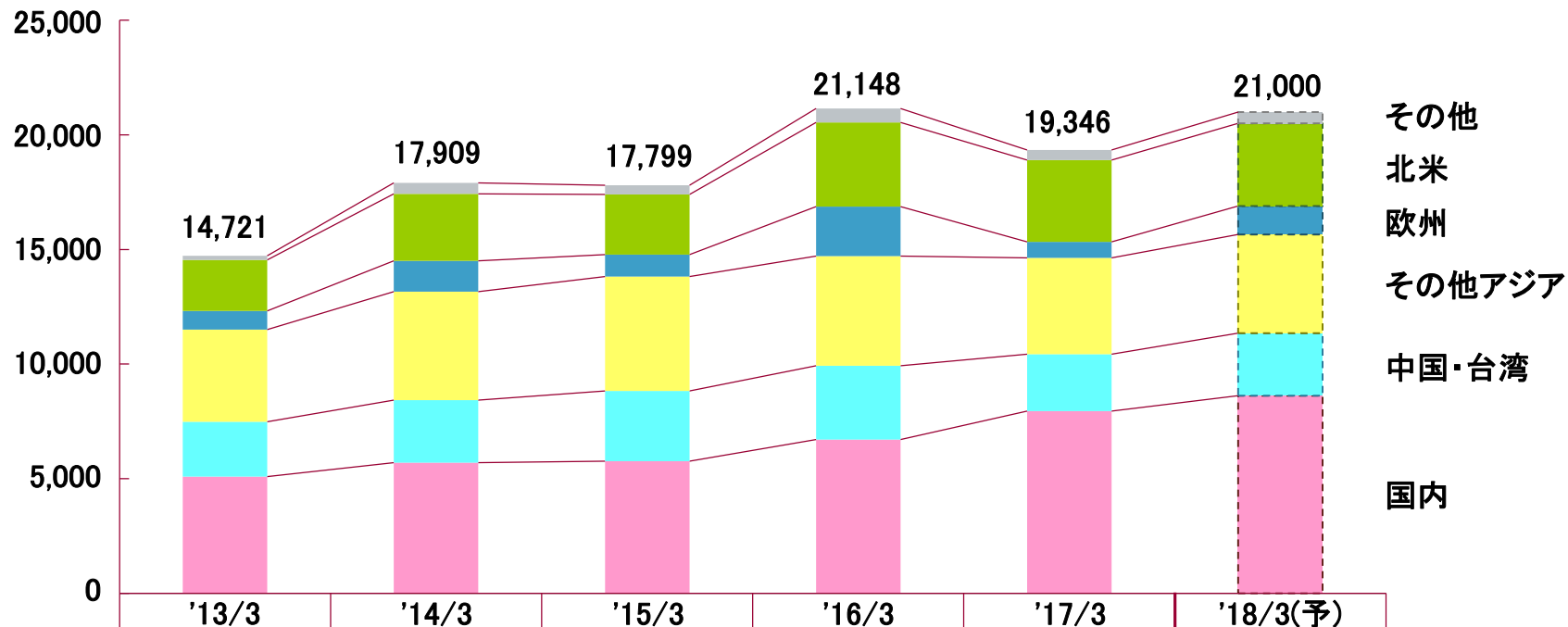
21,148

19,346

21,000

地域別売上高

(百万円)



	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3(予)
■ その他	181	484	395	610	445	500
■ 北米	2,215	2,917	2,628	3,665	3,573	3,600
■ 欧州	824	1,352	959	2,163	693	1,250
■ その他アジア	4,019	4,721	4,982	4,781	4,200	4,300
■ 中国・台湾	2,392	2,738	3,069	3,220	2,477	2,730
■ 国内	5,088	5,694	5,762	6,707	7,955	8,620
合計	14,721	17,909	17,799	21,148	19,346	21,000

業種別売上高

(百万円)

25,000

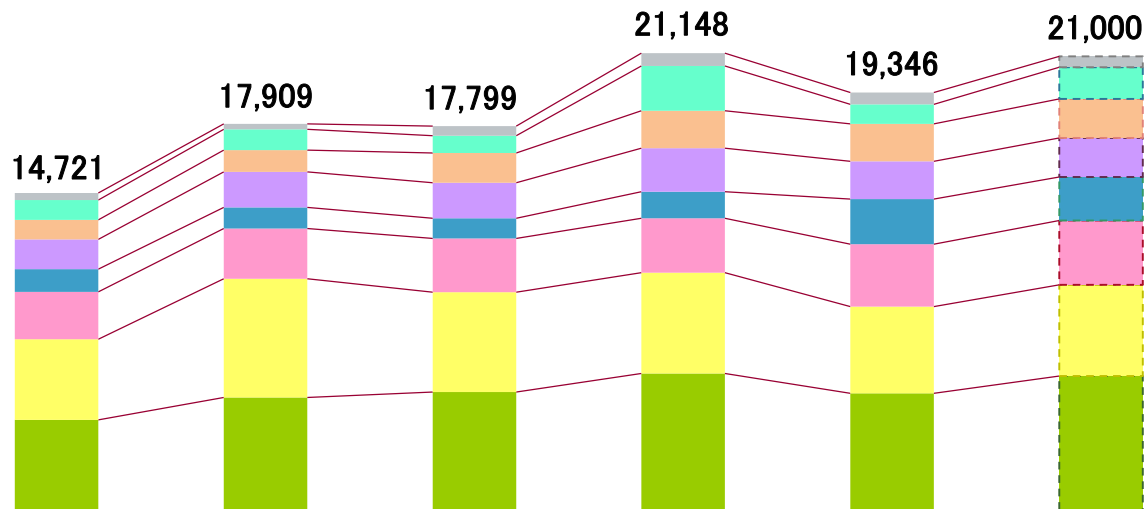
20,000

15,000

10,000

5,000

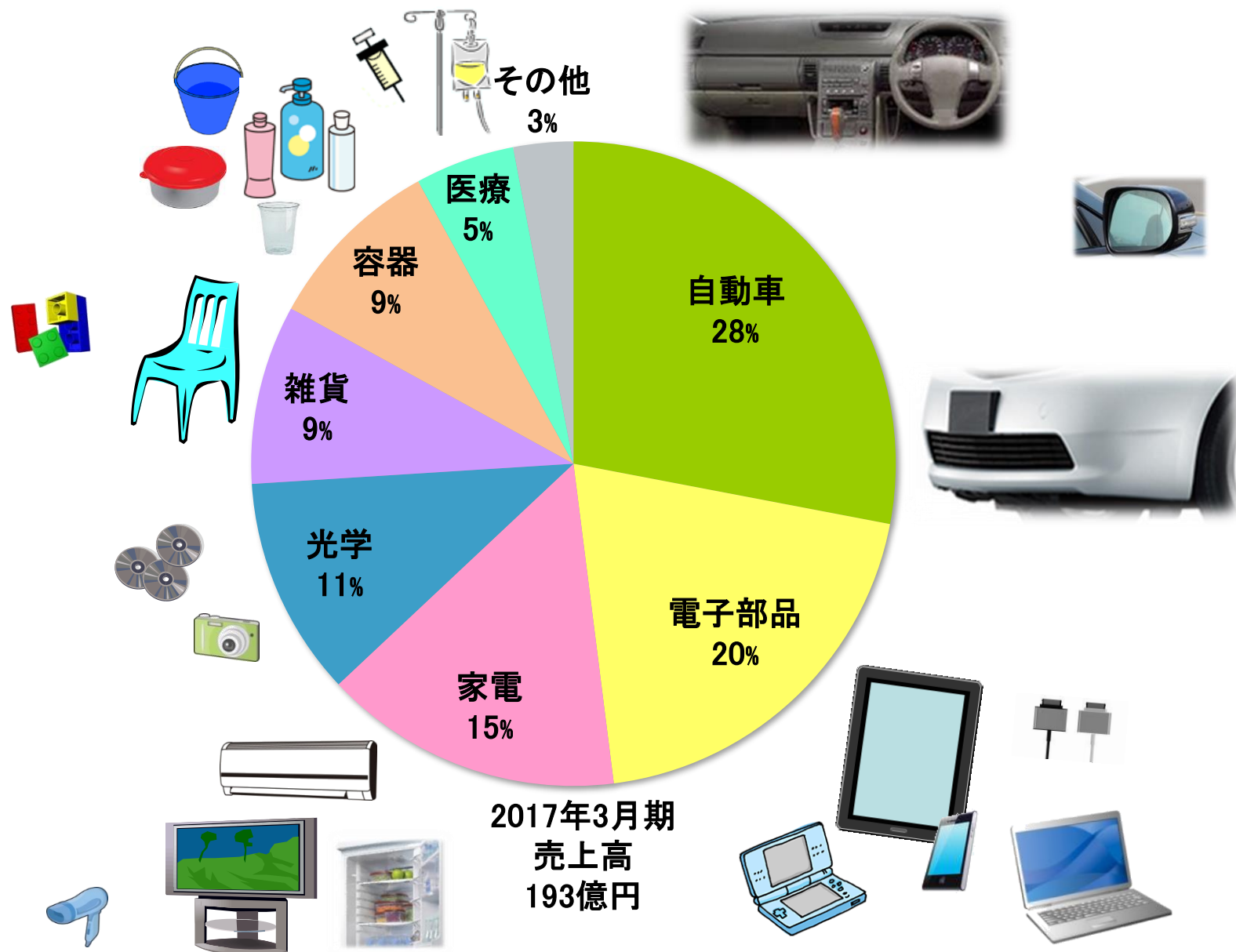
0



その他
医療
容器
雑貨
光学
家電
電子部品
自動車

	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3(予)
■ その他	314	257	440	580	549	500
■ 医療	919	949	797	2,069	902	1,450
■ 容器(食品・化粧品等)	898	1,008	1,361	1,708	1,715	1,800
■ 雑貨(家具・コンテナ等)	1,366	1,634	1,634	2,002	1,741	1,800
■ 光学	1,042	970	930	1,232	2,072	2,000
■ 家電(AV含む)	2,181	2,308	2,475	2,497	2,862	2,950
■ 電子部品	3,700	5,468	4,592	4,629	3,992	4,200
■ 自動車	4,296	5,312	5,567	6,428	5,511	6,300
合計	14,721	17,909	17,799	21,148	19,346	21,000

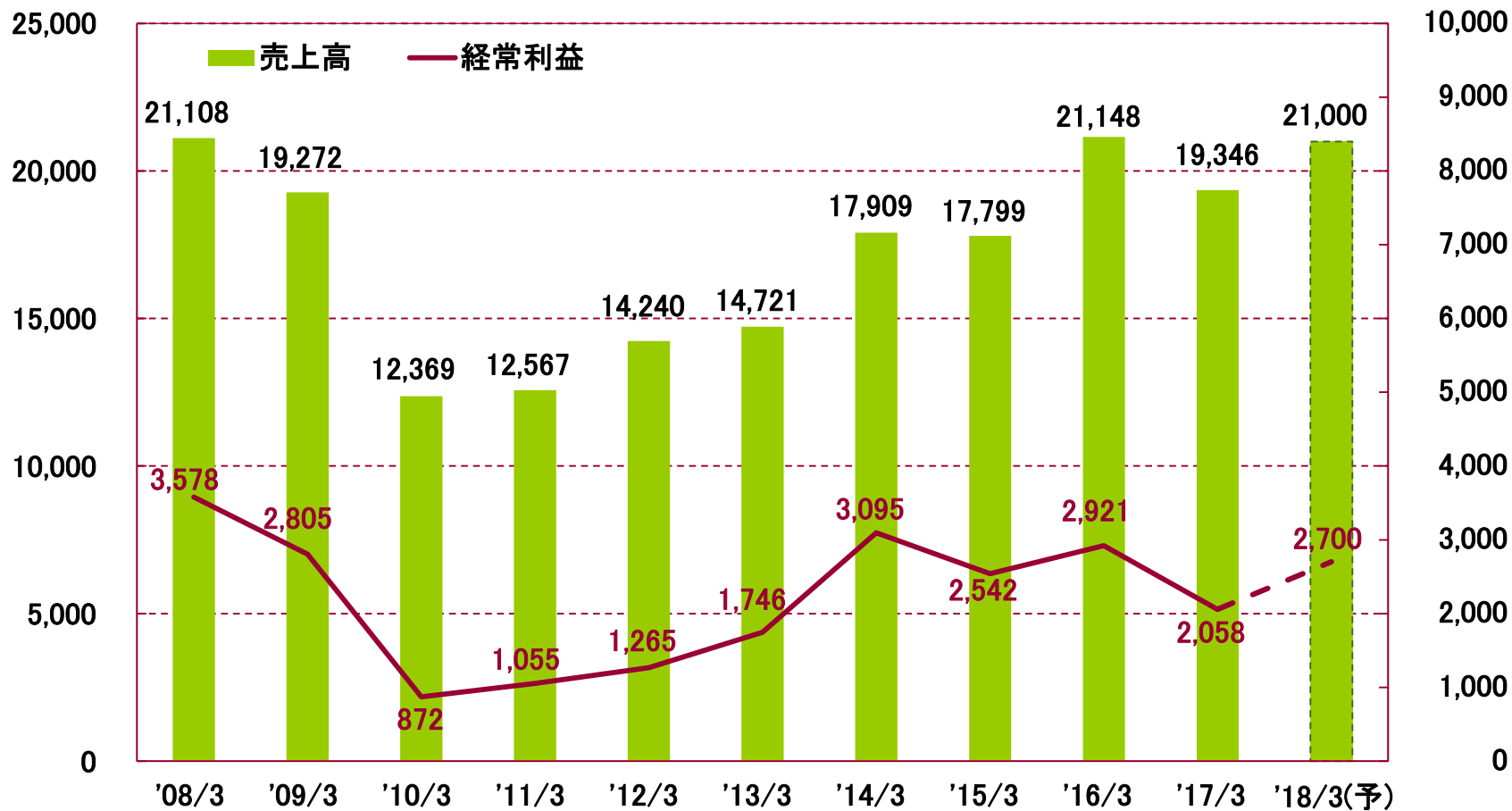
業種別売上高構成



業績の推移

売上高（百万円）

経常利益（百万円）



経常利益率(%)

17.0	14.6	7.1	8.4	8.9	11.9	17.3	14.3	13.8	10.6	12.9
------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------

グローバルネットワーク



<子会社>

- | | |
|-----------|------------|
| 1) 韓国 | 8) タイランド |
| 2) 台湾 | 9) インド |
| 3) 中国<上海> | 10) イギリス |
| -天津支店 | 11) アメリカ |
| 4) 中国<深圳> | -メキシコ支店 |
| 5) インドネシア | 12) 中国<広州> |
| 6) ベトナム | |
| 7) マレーシア | |

<駐在員事務所>

- 1) フィリピン

●..... 子会社

●..... 支店、駐在員事務所、サービス拠点、代理店

子会社の業績の推移

(百万円)

国 名	設立 時期	当社 出資 比率	2016/3			2017/3			2018/3(見込み)		
			売上高	営業 利益	当期 利益	売上高	営業 利益	当期 利益	売上高	営業 利益	当期 利益
韓 国	2000.10	100.0%	1,866	260	167	1,788	202	166	1,652	112	87
台 湾	2001. 7	100.0%	92	11	20	72	5	△2	80	11	9
中国(上海)	2007. 2	100.0%	933	14	11	885	20	19	876	9	7
中国(深圳)	2004. 4	100.0%	1,070	46	35	805	31	21	783	22	17
インドネシア	2012.11	99.0%	164	13	6	258	38	27	275	29	20
ベトナム	2014. 2	100.0%	77	9	9	90	14	11	100	22	18
マレーシア	2001. 5	100.0%	130	0	△1	209	16	8	203	11	8
タイランド	2001. 8	49.0%	845	156	112	640	66	57	702	79	64
インド	2007. 8	95.0%	40	10	8	35	0	△1	43	1	0
イギリス	2004. 3	95.6%	1,884	229	206	396	6	46	901	64	51
アメリカ	1988.10	100.0%	3,583	443	229	3,285	348	210	3,572	355	223
中国(広州)	2008. 9	100.0%	1,277	276	148	1,136	61	3	1,056	43	32

<為替レート>

米ドル

120.15円

108.38円

110.00円

英ポンド

181.32円

141.60円

142.00円

中国人民元

18.85円

16.11円

16.11円

貸借対照表

(百万円)

主な資産増減

主な負債増減

現金及び預金	+393
受取手形及び売掛金	+453
商品及び製品	+7
仕掛品	+259
原材料及び貯蔵品	△106
その他流動資産	+384
建物及び構築物	+4,185
その他の固定資産	+210
建設仮勘定	△4,581
無形固定資産	+103
投資有価証券	+35

資産
29,409

資産 30,761
前期比 +1,352

負債 5,310
前期比 +616

純資産 25,451
前期比 +736

負債
4,693

純資産
24,715

支払手形及び買掛金	+169
電子記録債務	+653
未払法人税等	△448
前受金	326
繰延税金負債(固定)	△93

主な純資産増減

利益剰余金	+771
為替換算調整勘定	△63

'16/3

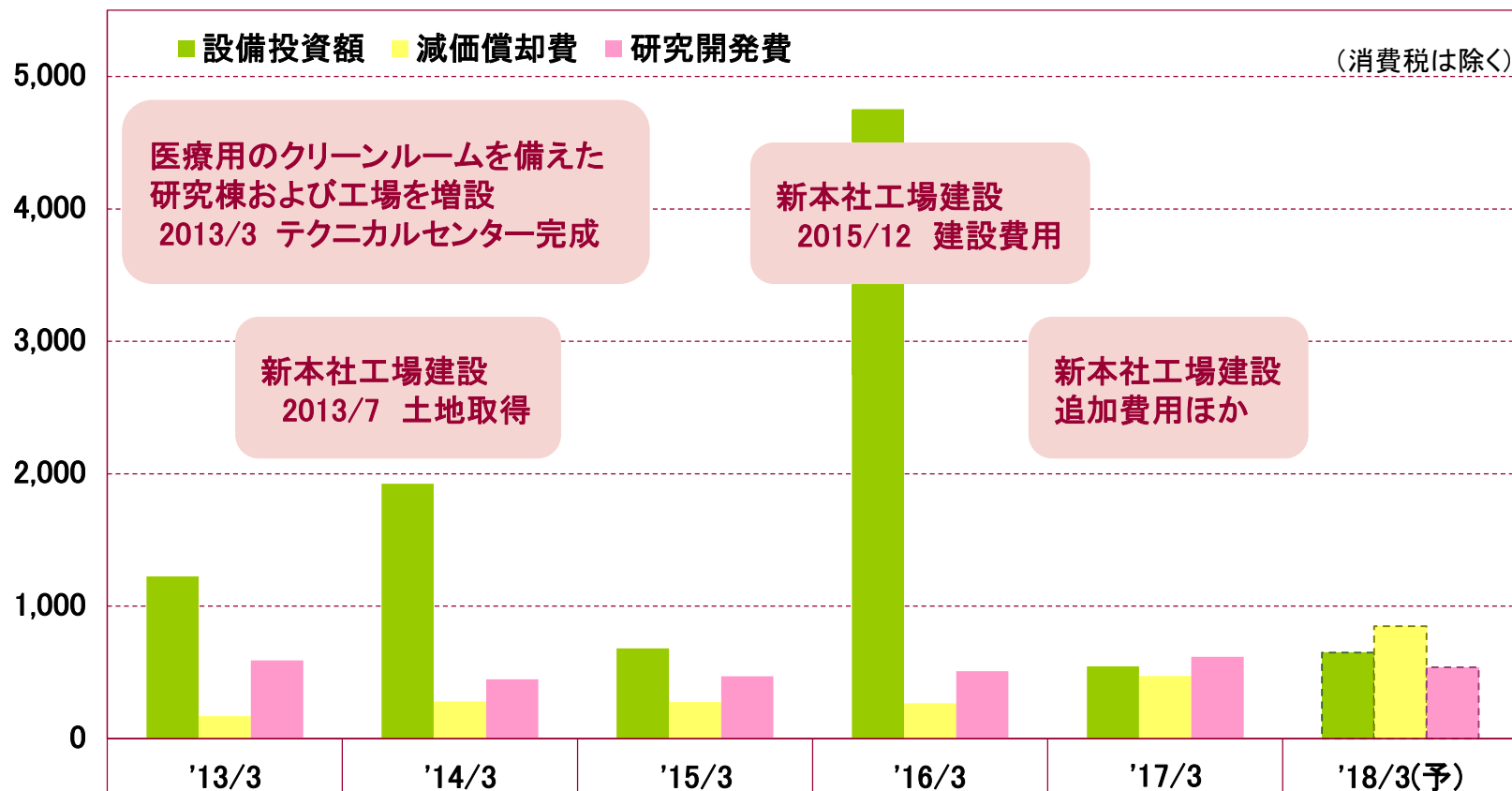
'17/3

'17/3

'16/3

設備投資、減価償却費、研究開発費

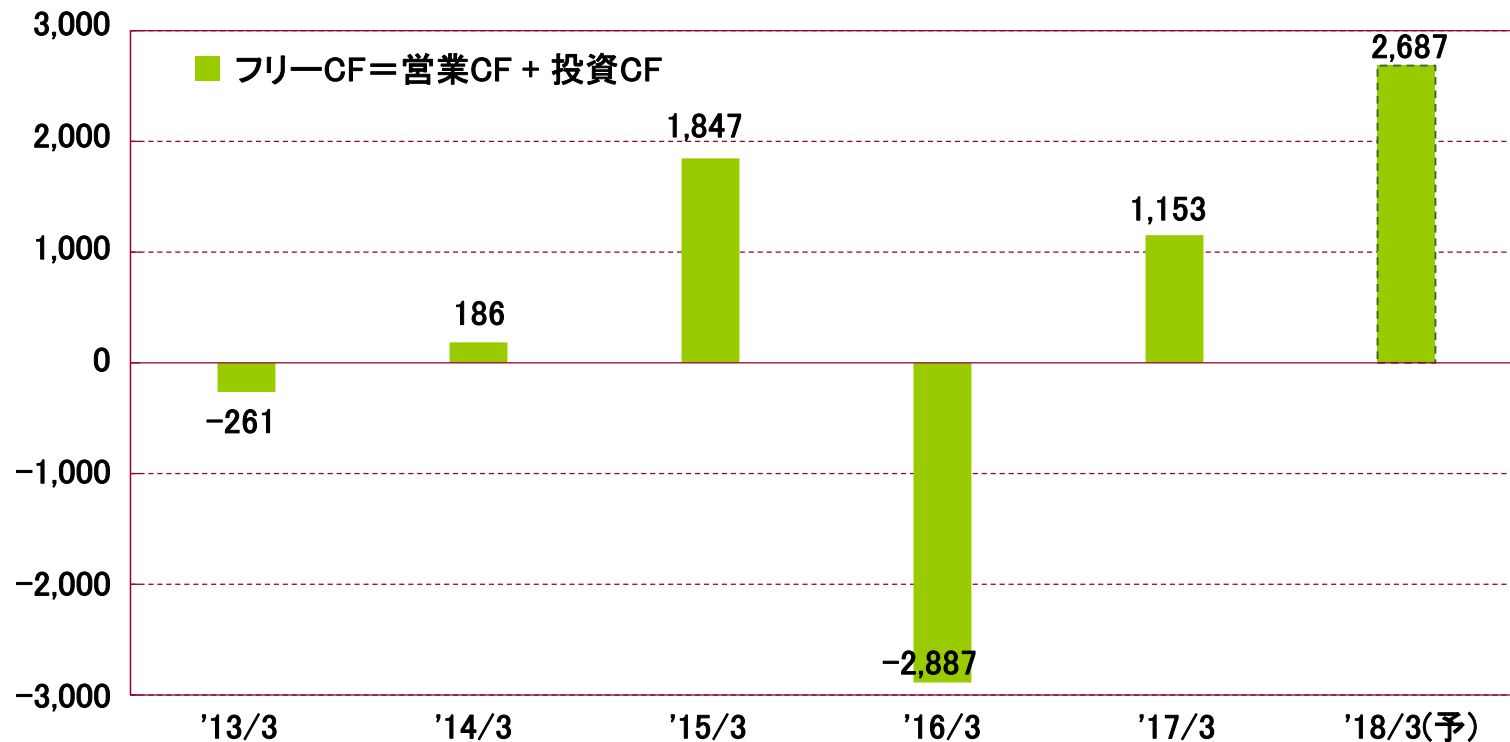
(百万円)



	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3(予)
■ 設備投資額	1,225	1,924	682	4,754	546	650
■ 減価償却費	170	282	277	268	474	850
■ 研究開発費	591	448	472	510	619	540

キャッシュ・フローの推移

(百万円)



◆営業、投資、財務キャッシュ・フローの推移

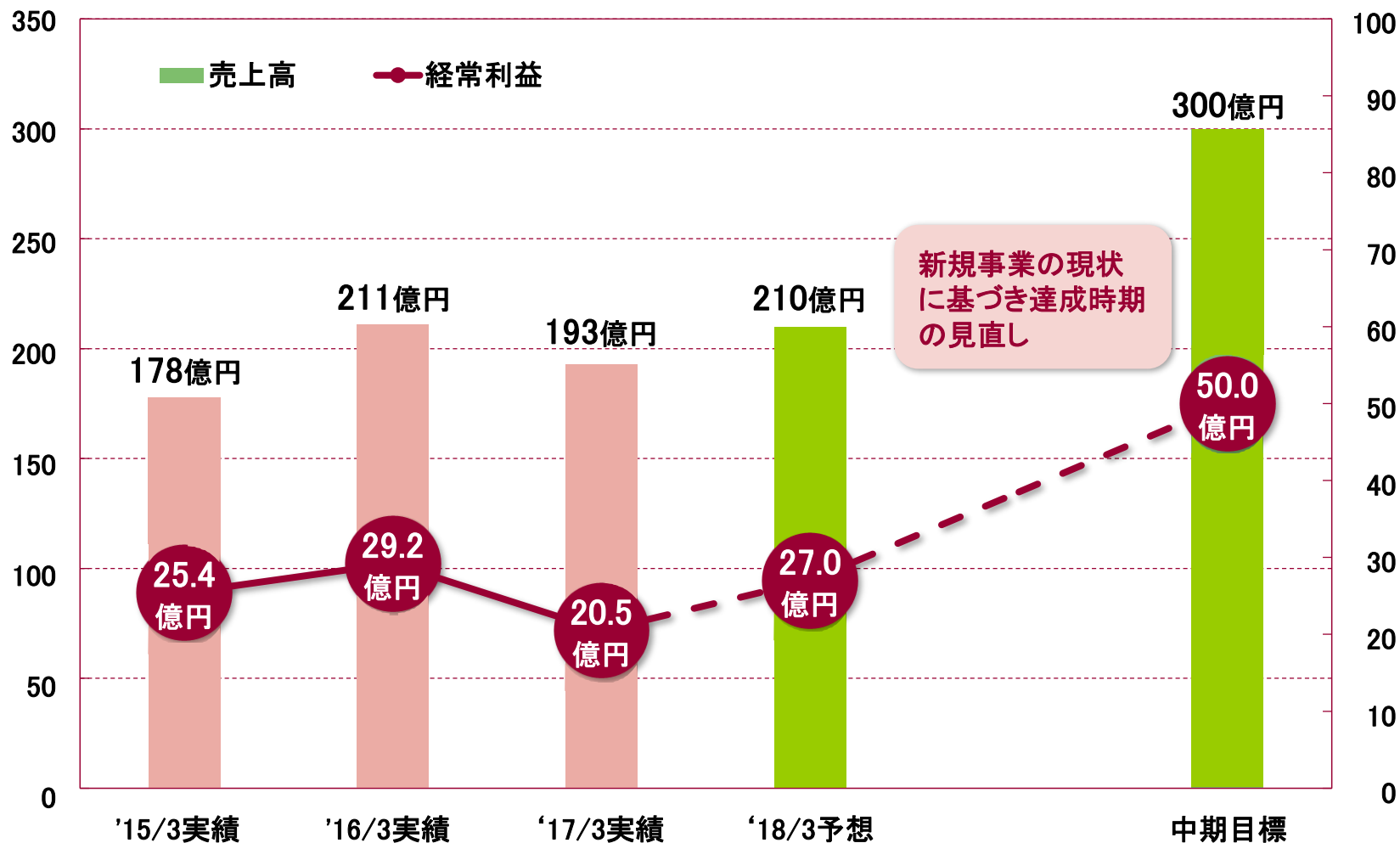
(百万円)

	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3(予)
営業CF	520	2,575	2,104	2,218	1,626	3,302
投資CF	△781	△2,389	△256	△5,105	△471	△615
財務CF	△351	△569	△560	△677	△678	△664

中期経営目標

売上高(億円)

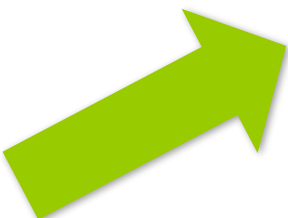
経常利益(億円)



中期経営目標

2017年3月期

- 連結売上高： 193億円
- 連結経常利益： 20億円
- 経常利益率： 11%
- 1株当たり利益： 79円

- 
- 連結売上高： 300億円
 - 連結経常利益： 50億円以上
 - 経常利益率： 15%以上
 - 1株当たり利益： 150円以上

戦略④ 新規事業への積極展開

戦略③ 人材育成

戦略② グローバル展開の更なる強化

戦略① 商品力の強化

戦略①: 商品力の強化(1)

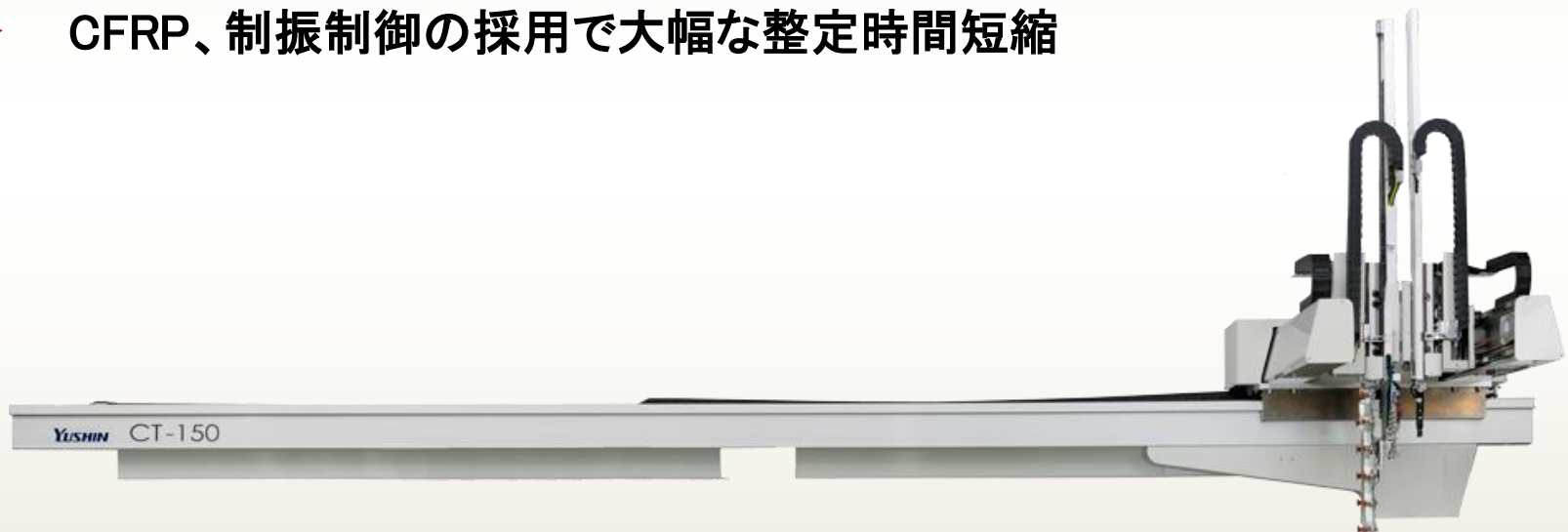
取出口ロボット(最上位機種)の新商品発売 (7月)

- 開発期間3年、延べ人数200名

戦略①: 商品力の強化(2)

縦走行タイプ製品取出口ロボット

- 工場スペース効率化、集中コンベア化が可能
- 最適設計によるモータ小型化、ECO吸着標準装備など省エネルギー実現
- CFRP、制振制御の採用で大幅な整定時間短縮



2017年4月5日発売

〈CT-150〉

戦略①: 商品力の強化(3) – 大学との共同研究

➤ 京都大学

「3次元最適設計を用いたロボットフレーム構造設計」

→ 軽量で剛性の高い機体づくり

➤ 大阪大学

「プロダクトデザイン(製品設計)を拡張したロボット設計手法の確立」

→ お客様ニーズや機体の機能・構造も考慮したモジュール化設計

➤ 同志社大学

「取出口ロボットの振動解析に向けた数学モデルの構築」

→ 取出口ロボット開発時の振動伝達の予測

戦略②: グローバル展開力の更なる強化

- 顧客の世界展開に対応できる総合力
- 世界各国のトップクラス企業がターゲット顧客
- 世界の主要地域に営業・サービス拠点を配置
- 本社における継続的なグローバル人材の積極採用



戦略③: 人材育成

- 大阪大学との共同研究によるプロダクトデザインの実施により、高度な技術を持つ設計者を育成
- ISO12100(機械の包括的な安全基準)に対応した資格者(セーフティアセッサ)の育成
- 各種研修の実施
上級テクノスクール技術研修、マネジメント研修、海外トレーニー制度
- 女性の積極活用



2016年12月に本社工場竣工・移転

- 連結売上高300億円を達成するための新本社工場建設
- 生産性向上と業務合理化を推進し、グループの持続的成長を目指す
- 生産エリアの集約
 - ・ 部材や機体の受入れから組立・検査・出荷までを一貫し、生産性を向上



土地: 20,597m²
延床面積: 20,095m²

2016年12月に本社工場竣工・移転

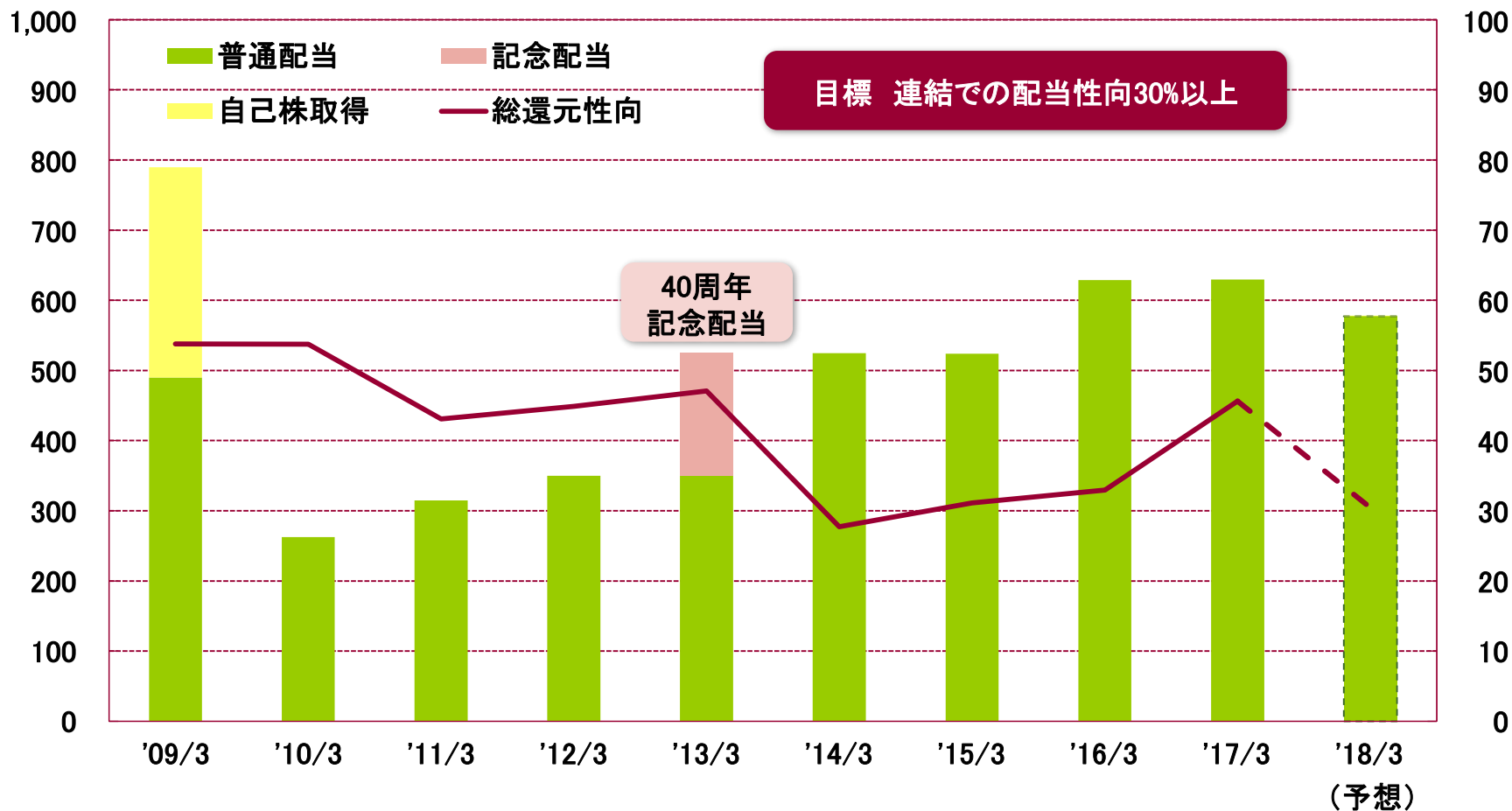
- 大型機の受注拡大
 - ・ 射出成形機の型締力2,000t クラス以上に対応する大型取出口ボットを組立・検査するスペースの拡大
 - ・ 従来の2階層吹き抜けを3階層吹き抜けとし、ピットも含めて高さを確保
- コミュニケーションの活発化による業務の合理化、高度化
 - ・ 営業・開発・設計・管理の各部署(240人)を4階フロアに集結



株主還元策

(百万円)

(%)



年間配当	28円	15円	18円	20円	30円	30円	30円	36円	36円	33円
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

株式会社 ユーシン精機

問合せ先 : 経営企画室

(TEL) 075-933-9555 (E-mail) irinfo@kyo.ype.co.jp

www.ype.co.jp

注意事項:

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。

又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

本資料の転載はご遠慮下さい。